

# かわさきチャレンジ・3R ニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。

第25号

平成26年10月発行

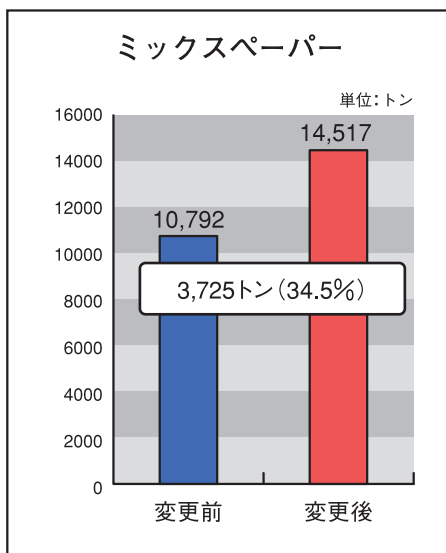
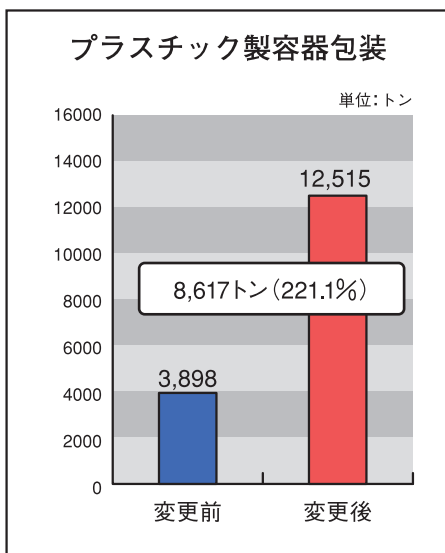
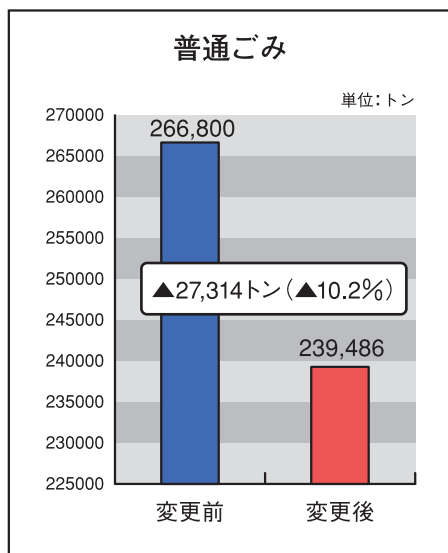


## 市民の皆さまのご協力によりごみが大幅に減量！ ～ごみ収集体制変更後 1年間の状況～

地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指し、ごみ収集体制を変更してから1年が経過しました。

市民の皆さまのご理解とご協力により、大幅に「ごみ」を減らすことができました。

(変更前:平成24年9月～平成25年8月) (変更後 平成25年9月～平成26年8月)



- 収集体制変更後は、変更前に比べて普通ごみ収集量が**10.2%減量**し、新たに全市実施したプラスチック製容器包装のみならず、ミックスペーパーについても相乗効果で収集量は大幅に増加しています。また、普通ごみの減量分(27,314トン)が、資源物の増加分(12,342トン)を上回っており、全体で**14,972トンの普通ごみの排出抑制効果**がみられます。
- 平成27年度のごみ焼却量は、3処理センター体制へ移行可能な目安の「**※37万トン**」を下回る見込みとなっており、平成27年4月からの3処理センター体制に向けて順調に推移しています。  
(※ 37万トンは、事業系のごみ焼却量を含む数字です。)

「3R」の推進にご協力ありがとうございます。  
この間に大幅に普通ごみを減量することができました。  
今後も引き続き、地球環境にやさしい  
持続可能な循環型のまちを目指して「3R」の取組にご協力をお願いします。

